

宮陵会報

Kyuu-Ryo

2022・7
(令和4)

No.114

一般社団法人
神奈川大学宮陵会
広報委員会

〒221-0802
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学内
TEL 045-481-5661
(内線 2451~3)
FAX 045-413-0791
kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp



「我が母校 みなとみらいキャンパスと県花ヤマユリ」(絵 渡邊 恵子)

目次 No.114

定時総会報告、代議員選挙について、表彰者芳名、表紙のことばなど	P2-P3
2021年度事業報告・決算、2022年度事業計画・予算	P4
新型コロナとキャンパスライフ (大塚順子さん)	P6
地域組織の魅力紹介 (愛媛県、福井県、埼玉県)	P7~P9
活躍する卒業生 (嶋田晃さん、日芳佳奈子さん、品田文子さん、守屋紀洋さん)	P10~P13
卒業生の声 (投稿)	P14~P16
宮陵会事務局からのお知らせ、プレゼント情報など	P16
【広告索引】株式会社KUパートナーズ	P5

3年ぶり、横浜キャンパスで定時総会

長期にわたり発出されていた新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「まん延防止等重点措置」が本年3月、すべて解除された。神奈川大学でも4月から施設の外部貸し出しを再開。3年ぶりに対面による宮陵会本部の定時総会を、横浜キャンパスで開催した。（専務理事 佐藤武）

本人出席83、議決権行使50、委任状出席60

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2020（令和2）年度、21（令和3）年度と2年にわたり、役員や近隣在住者など出席者を限定した宮陵会本部の定時総会は、学外のホテルで開催となった。が、4月以降、神奈川大学でも対面での授業実施が8割程度となったことや、大学施設の外部貸し出しが再開されたこともあり、定時総会は3年ぶりに、6月11日、横浜キャンパスセレストホールで開催した。

社員総数207のうち、本人出席83、議決権行使50、委任状出席60（受任者は議長に48、会長に11、代議員個人に1）の計193名の出席。庄子さち子理事（昭54法）の司会で始まった総会は、21年度総会以降に逝去された藤井保氏（昭39買、津久井宮陵会会長）や名誉役員の小川勲夫参与（昭37機）のご冥福を祈り、全員で黙祷をささげた。



来賓あいさつする日野晶也神大理事長（当時）



来賓あいさつする小宮誠神大理事長

報告事項では、社員の小川別氏の会員状況②会費納入状況

続いて、校歌清聴ののち、久保清治会長（昭43買・50経博）が開会あいさつ。定款第16条に基づき、総会議長に三宮政俊本会副会長（昭51法・53法修）を満場一致で選任。司会者から、定款第18条



定時総会であいさつする久保清治宮陵会会長

に定める社員総数の過半数を満たし総会は成立した旨の報告があり、議長が議事録署名人に社員の多湖秀明氏（昭46経）と高嶺徹氏（平19自治）の2人を指名、審議に入った。

議案は原案通り承認

議事は、久米信行専務理事（昭49経）が①報告事項として21年度の事業報告、22年度の事業計画及び予算②決議事項として第1号議案の「21年度決算承認の件」を説明。横山朗監事（平18法務）が監査報告を行った。質疑応答などを経て、議案は原案通り承認された。



定時総会で議案説明する久米信行専務理事



起立して校歌を清聴する参加者

況③神奈川大学の志願者状況についての質問があり、また、社員の庄子忠宏氏（昭40工経）からは、会費の納入状況などに関する意見が出された。久米専務理事や佐藤専務理事（56経）が回答した。決議事項では、社員の長谷川進一氏（38経）から①新卒業生のうち正会員の割合と時系列で人数を把握しているか②会費納入状況を他大学と比較したことはあるか、などについて質問が出された。佐藤専務理事が回答。活発な議論の末、定刻を若干過ぎて議事終了となった。

続いて、日野晶也学校法人神奈川大学理事長（当時）、小宮誠神奈川大学学長、並びに明比卓理事・事務局長が入場。日野理事長や小宮学長から、ご自身の自己紹介や大学の近況報告を含めたあいさつがあった。最後に、司会が「22年度表彰者芳名」を披露。出席した本部表彰の3名と特別表彰の3名、2団体に對し、久保清治会長が表彰状と記念品を授与し、全てのスケジュールを終了した。

なお、表彰終了後、本年4月5日にリニューアルオープンした大学図書館の紹介と希望者による図書館見学ツアーが行われた。

□代議員選挙について

一般社団法人神奈川大学宮陵会の「総会（社員総会）」は、正会員の選挙によって選出された代議員（Ⅱ社員）で構成され、その代議員は、正会員からの立候補者と代議員候補者推薦委員会から推薦された候補者のなかから正会員による選挙で選ばれます。

現在の代議員が2023年1月31日をもって任期満了になりますので、定款第11条並びに代議員選任規程に基づき、次期代議員を選ぶ代議員

選挙を下記のとおり実施します。

代議員選挙の選挙権、被選挙権のある正会員とは、「選挙年度の4月1日現在、住所が判明し、定款に定められた会費を納入している会員」ですが、代議員選挙管理委員会が定める期日（2022年10月31日）までに、正会員資格の判断基準である、住所の届出並びに会費の納入の手続きを行うこと等により、代議員に立候補または推薦人となる資格を有する者とみなすことができますので、申し添えます。

記

③候補者の公示

2022年12月1日（木）

④投票期間

2023年1月16日（月）

⑤当選者の公告

2023年2月1日（水）

1. 代議員の定数 210人（定款第11条第1項、代議員選任規程第3条）
2. 代議員の任期 2023年2月1日～2025年1月31日（定款第11条第5項）
3. 選挙日程
 - ①選挙の公示
2022年8月1日（月）
 - ②立候補の受付期間
2022年10月3日（月）～
10月17日（月） 消印有効

※代議員候補者が定数を超えない場合は、投票を行いません。

▽代議員選挙の詳細につきましては、「代議員選挙のお知らせ」（正会員に同封または宮陵会ホームページの公示をご覧ください。会員種別につきましては、「会費の納入について（お願ひ）」の「会費納入要領」の最後に記載いたしました。

長崎宮陵会が

ウクライナ支援金を

諫早市に寄託

2022（令和4）年6月11日開催の宮陵会本部定時総会でウクライナ難民支援金を募ったところ、25,098円が寄せられました。諫早市が受け入れた難民のために6月23日、全額を諫早市に寄託しました。ご報告と御礼を申し上げます。

長崎宮陵会 会長 高名 洽

表彰者芳名

■功勞表彰（表彰規程第2条第2号該当）

▽本部関係

会田 彰様（昭和45年経済学部貿易学科卒業、元副会長・理事・財政委員長・事業委員長）

今田 正紀様（昭和45年経済学部経済学科卒業・平成16年大学院経済学研究科経済学専攻博士前期課程修了、元監事・理事・財政委員長）

春原正三郎様（昭和47年法学部法律学科卒業、元副会長・専務理事・理事）

▽地域組織関係

森 隆司様（昭和38年工学部工業経営学科卒業、元横浜北会長・副会長）

■感謝表彰（表彰規程第2条第3号該当）

▽本部関係

永田 晴彦様（昭和58年経済学部貿易学科卒業、元理事）

▽地域組織関係

古澤 伸様（故人昭和63年経済学部経済学科卒業、元若手県宮陵会幹事長）

大谷 豊司様（昭和49年法学部法律学科卒業、元兵庫県宮陵会事務局長）

中川 静夫様（昭和42年工学部電気工学科卒業、元香川県宮陵会副会長）

■特別表彰（表彰規程第2条第4号該当）

藤井 保様（故人昭和39年法経学部貿易学科卒業、元津久井宮陵会会長・会長代行）

北野 紘一様（昭和39年法経学部法学科卒業、元レスリング部OB・OG会副会長）

伊東 純也様（平成27年人間科学部人間科学科卒業、サツカ日本代表の2022年FIFAワールドカップの出場権獲得に貢献）

砂川 文次様（第166回芥川賞受賞）

水泳部（第97回日本学生選手権水泳競技大会女子総合優勝）
運達成

宇宙ロケット部（ハイブリットロケット打ち上げ実験 高度10.1m（日本新記録））

新倉すみれ様（人間科学部人間科学科2年、2021年明治杯全日本選抜レスリング選手権大会フリースタイル72kg級2位、2021年度JOC杯ジュニアアクイティンスカップフリースタイル72kg級優勝、文部科学大臣杯令和3年度全日本学生レスリング選手権大会フリースタイル72kg級優勝、天皇杯令和3年度全日本レスリング選手権大会フリースタイル72kg級優勝）

表紙のこぼ

題名「我が母校 みなとみらいキャンパスと県花ヤマユリ」

2022（令和4）年制作 F10号

待望のみなとみらいキャンパスの開設から1年余。湘南ひらつかキャンパスの生物学園にあった萩原哈二元学長の研究対象だったヤマユリも、新キャンパスを覗いてみたいかも?と思い、時空を超えて復活してみました。夕陽に映えるのは、やっぱり富士山。そしてプラウドブルーの空。

渡邊恵子（宮陵会理事1977年 法学部法律学科卒業）

貸借対照表

2022年3月31日現在 (単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	305,999	323,438	△ 17,439
預貯金	39,406,235	39,244,150	162,085
有価証券	211,345	453,724	△ 242,379
未払金	212,000,000	212,000,000	0
未払金	0	52,035	△ 52,035
倒引当金	0	415,000	△ 415,000
倒引当金	0	△ 285,000	285,000
流動資産合計	251,923,579	252,203,347	△ 279,768
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
奨学金積立資産	110,000	10,000	100,000
神奈川大学創立100周年積立資産	61,000,000	41,000,000	20,000,000
退職給付引当金	3,263,140	3,263,113	27
特定資産合計	64,373,140	44,273,113	20,100,027
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	209,000	0	209,000
その他固定資産合計	209,000	0	209,000
固定資産合計	67,582,140	47,273,113	20,309,027
資産合計	319,505,719	299,476,460	20,029,259
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	438,832	774,435	△ 335,603
前受金	30,000	21,000	9,000
預り金	133,941	124,294	9,647
流動負債合計	602,773	919,729	△ 316,956
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,263,140	3,263,113	27
固定負債合計	3,263,140	3,263,113	27
負債合計	3,865,913	4,182,842	△ 316,929
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産	315,639,806	295,293,618	20,346,188
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(61,110,000)	(41,010,000)	(20,100,000)
正味財産合計	315,639,806	295,293,618	20,346,188
負債及び正味財産合計	319,505,719	299,476,460	20,029,259

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで (単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産受取利息	973	2,261	△ 1,288
② 受取正準会費	(51)	(255)	(△ 204)
③ 雑収入	(922)	(2,006)	(△ 1,084)
④ 受取正準会費	117,239,000	118,740,000	△ 5,501,000
⑤ 受取正準会費	(7,749,000)	(8,640,000)	(△ 891,000)
⑥ 雑収入	(109,490,000)	(110,100,000)	(△ 610,000)
⑦ 雑収入	1,144,076	867,862	276,214
⑧ 雑収入	(14,814)	(60,429)	(△ 45,615)
⑨ 雑収入	(1,129,262)	(807,433)	(321,829)
経常収益合計	118,384,049	119,610,123	△ 1,226,074
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	7,860,104	7,522,562	337,542
退職給付引当金繰入	14	350,012	△ 349,998
福利厚生費	1,265,273	1,222,671	42,602
旅費	15,000	35,000	△ 20,000
通信費	163,226	80,076	83,150
通運費	28,742,264	28,735,751	6,513
消耗品	6,650,111	972,725	5,677,386
印刷費	7,906,192	8,500,673	△ 594,481
印刷費	230,000	60,000	170,000
印刷費	93,060	226,020	△ 132,960
印刷費	111,370	0	111,370
印刷費	3,000,000	3,000,000	0
印刷費	4,168,027	2,303,371	1,864,656
印刷費	17,112,500	33,195,000	△ 16,082,500
印刷費	6,087,500	8,805,000	△ 2,717,500
印刷費	355,941	950,685	△ 594,744
印刷費	8,946	14,500	△ 14,500
印刷費	2,400	6,546	△ 4,146
事業費合計	83,769,528	95,976,446	△ 12,206,918
② 管理費			
給料手当	7,860,104	7,522,561	337,543
退職給付引当金繰入	242,475	2,362,480	△ 2,120,005
福利厚生費	13	350,011	△ 349,998
旅費	254,101	1,222,671	△ 42,602
通信費	1,169,600	715,654	△ 461,553
通運費	638,177	499,739	138,438
消耗品	11,000	11,000	0
消耗品	0	0	0
消耗品	388,850	265,325	123,525
消耗品	475,245	472,211	3,034
消耗品	917,268	614,500	302,768
消耗品	93,060	226,020	△ 132,960
消耗品	409,640	409,640	0
消耗品	445,500	1,096,700	△ 651,200
消耗品	123,027	112,318	10,709
管理費合計	14,293,333	16,587,602	△ 2,294,269
経常費用合計	98,062,861	112,564,048	△ 14,501,187
当期経常増減額	20,321,188	7,046,075	13,275,113
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
貸倒引当金戻入額	25,000	0	25,000
経常外収益合計	25,000	0	25,000
(2) 経常外費用			
当期経常外増減額	25,000	0	25,000
当期一般正味財産増減額	20,346,188	7,046,075	13,300,113
一般正味財産期首残高	295,293,618	288,247,543	7,046,075
一般正味財産期末残高	315,639,806	295,293,618	20,346,188
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	315,639,806	295,293,618	20,346,188

2021年度 事業報告

■ 2021・2022年度の役員として、理事 20名と監事3名が選任され、6月12日に開催された理事会において会長、副会長、専務理事が選定された。

■ 学校法人神奈川大学「米田吉盛教育奨学金」募金へ620万円を寄付、給付奨学金として学部生4名、大学院生13名に対し総額6,087,500円を給付した。

■ コロナ禍における学生への緊急支援として、一人暮らしの学生を対象に「食品の無料配布」を実施した。レトルト食品、カップ麺、お菓子など一人当たり3,000円相当の食品を2,000名の在学学生に配布した。

■ 「地域組織に対する義援金贈呈の取扱要領」に基づき、豪雨などにより罹災した地域組織に義援金を贈呈した(3地域組織)。

2022年度 事業計画

■ 2023・2024年度代議員を選出するための選挙を実施する。

■ 地域組織代表者会議の開催。ブロック会の効果的な運営・活用と、今後の地域組織代表者会議のあり方を検討する。

■ 横浜キャンパス図書館の大規模改修に伴い、図書館の環境向上を図るためのグリーン(造木)設置に対する寄付。

■ 会費の納入促進と会費制度の見直し。

■ 健全に事業を運営するための事業・経費の合理化策の検討。

詳細は宮陵会ホームページでご確認いただけます。

正味財産増減予算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで (単位:円)

科 目	予 算 額	備 考
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
① 基本財産受取利息	2,000	
② 受取正準会費	(1,000)	
③ 雑収入	(1,000)	
④ 受取正準会費	113,580,000	
⑤ 受取正準会費	(6,030,000)	
⑥ 雑収入	(107,550,000)	
⑦ 雑収入	320,000	
⑧ 雑収入	(20,000)	
⑨ 雑収入	(300,000)	
経常収益合計	113,902,000	
(2) 経常費用		
① 事業費		
給料手当	8,860,000	
退職給付引当金繰入	46,000	
福利厚生費	1,550,000	
旅費	1,664,000	
通信費	7,272,000	
通運費	44,840,000	
消耗品	9,297,000	
印刷費	10,820,000	
印刷費	2,200,000	
印刷費	250,000	
印刷費	484,000	
印刷費	6,300,000	
印刷費	13,430,000	
印刷費	8,000,000	
印刷費	4,000,000	
印刷費	4,550,000	
印刷費	200,000	
事業費合計	123,763,000	
② 管理費		
給料手当	8,860,000	
退職給付引当金繰入	360,000	
福利厚生費	46,000	
旅費	1,550,000	
通信費	2,660,000	
通運費	4,700,000	
消耗品	870,000	
消耗品	44,000	
消耗品	2,000,000	
消耗品	660,000	
消耗品	1,000,000	
消耗品	1,700,000	
消耗品	2,500,000	
消耗品	1,700,000	
消耗品	420,000	
消耗品	1,500,000	
消耗品	975,000	
消耗品	400,000	
管理費合計	27,995,000	
経常費用合計	151,758,000	
当期経常増減額	△ 37,856,000	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益		
貸倒引当金戻入額		
経常外収益合計		
(2) 経常外費用		
当期経常外増減額	0	
当期一般正味財産増減額	△ 37,856,000	
一般正味財産期首残高	315,639,806	
一般正味財産期末残高	277,783,806	
II 指定正味財産増減の部		
① 受取寄付金		
受取寄付金		
当期指定正味財産増減額		
指定正味財産期首残高		
指定正味財産期末残高		
III 正味財産期末残高	277,783,806	

神奈川大学 オリジナル横濱スカーフ

神奈川大学に出向(※)のJAL客室乗務員がデザイン協力

※スカーフ作成時



イメージ



枚数限定 シルク100%

千鳥巻き・手捺染

JAL客室乗務員のメッセージカード同封

送料無料

10,000 円

PROUDBLUE コスメティックシリーズ 神奈川大学の研究から誕生

COSMETIC SERIES
PROUD BLUE

大学の研究力を日常にも
そんな想いから誕生した
PROUD BLUE コスメティックシリーズ

人と環境にやさしい特許技術
「三相乳化」で毎日を健やかに

神奈川大学のゆるぎない技術・研究力で
あなたの日常をサポートします

このシリーズは
70%以上の原料を産地から直接調達しています

センシティブモイストチュアクリーム 2,500円

モイストチュアジェル(美容ジェル) 2,500円

モイストチュアローション(化粧水) 2,000円

モイストチュアUVジェル(日焼け止め) 1,300円

(お買い上げ5,000円以上で送料無料)

ご注文はQRコードまたは
URLからお願いします

(Yahoo! ショッピング)



このオンラインショップは、学校法人神奈川大学が100%
出資する事業会社(株)KUパートナーズが運営しています

<https://store.shopping.yahoo.co.jp/ku-partners/>



新型コロナとキャンパスライフ

2019(令和元)年4月、政府が新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言を発出して以降、授業やキャンパスの情景は大きな変化を遂げてきました。その時々様子は、神大ホームページや宮陵会報を通してご存じのことと思いますが、今年度のキャンパスの様子を写真とともに報告します。

神大保健管理センター保健管理事務室長
宮陵会広報委員 **大塚 順子**
1984(昭和59)年 経済学部経済学科卒業



みなとみらいキャンパス授業(ゼミ)風景

©2022(令和4)年3月撮影



学内集団感染防止のため、1.5m間隔での着席や不織布マスクの着用、私語を慎むなど、感染対策を徹底しながら対面授業を実施しています。加えて、体調不良時は入構できませんが、そんな時は担当教員に連絡し、キャンパス内で行っている対面授業を、自宅から受講できるハイフレックス授業が進められています。

学食での賑わい(横浜キャンパス)

©2022(令和4)年6月24日撮影



お昼休みの学食での写真です。お弁当中心の販売でしたが、今年度より、以前のように好きな物をチョイスするアラカルトが復活しました。着席すると目の前に「個食」「黙食」の注意喚起ポスターが目飛び込んできます。早く、会話しながら食べられるようになってほしいものです。

白楽駅に向かう学生たち

©2022(令和4)年6月20日撮影



大学での授業(4時限)が終了し、白楽駅に向かう学生たちの様子です。多くの学生が不織布マスクをしています。が、どう見ても対人距離が1.5mは無いように思われます。「神大ルールを守ってください」と言いたくなります。これが青春なのでしょうが。



みんな知っているよね!!
「神大ルール」

新型コロナウイルスの発生で新たに生まれた「神大ルール」です。これは学生・教職員全員が守るルールとして大学が定めています。変異株など変化が激しい中、最新情報をもとに学校医・産業医による改定が行われます。対面授業の冒頭に、教員が感染対策を読み上げて開始するという徹底ぶりです。学内集団感染が起きないように、みんなで取り組んでいるところです。



地域組織の魅力紹介

これまでに『宮陵会報』や『宮陵』で、43地域組織の魅力や話題などを紹介してきました。本号では、愛媛県、福井県、埼玉県の3宮陵会を紹介します。

内子東自治センターに

米田吉盛先生の銅像

愛媛県宮陵会 八木 健治(72歳)

愛媛県は、わが神奈川大学の創立者・米田吉盛先生の生誕の地であり、このことが愛媛県宮陵会の一番の自慢です。地元である大洲市や内子町では、かつて米田先生を慕って、多くの若者が上京したと聞いています。私も五年ほど前に、米田先生の出生地を地元の大洲八西地区会メンバーと訪れました。人里離れた山奥で今は何もなく、その風景から米田先生は極貧の中で育ったのだな、という思いがひしひしと感じられ、若き米田

青年はどのような志を持って世界に飛び立っていったのかと考えると感慨深いものがあります。

2007(平成19)年には米田先生の業績を顕彰し、町と大学が連携して先生の銅像を内子町の内子東自治センター内に設置しています。また、米田先生の生誕地の地域では、毎年、定期的に米田先生を偲ぶ地域行事を開いています。更に2014(平成26)年には、愛媛県と神奈川大学が学生の就職活動を支援するための「学生U・イターン就職促進に関する協定」を締結し、地元愛媛県への就職を支援しています。このように内子町では今でも米田先生関連のイベントや事業が行われており、これには地元宮陵会の、大洲・八西地区会のメンバーも全面的に協力しています。

その他の各地区会の話題は、まず宇和島地区会です。2021(令和3)年2月、宇和島東高校出身の鈴木健吾選手がマラソン日本新記録を達成し、鈴木選手を大学時代から応援していた地区会のメンバーは大いに盛り上がりました。さらに、大洲・八西地区会では「よこはまみなとみらいキャンパス」が開設したのを機に、安いパックで行ける見学ツアーを企画、コロナが収まれば行く予定です。そして西条地区会では、もう15年ほ

ど前から、毎年、名物の芋煮会(西条いもたき)を加茂川の河川敷で行い親睦を深めています。

やぎけんじ
◎会長 1975(昭和50)年
経済学部経済学科卒業

北陸新幹線開業を

見据える街

福井県宮陵会 武田 幸夫(69歳)

福井はいま、再来年(2024年3月)の「金沢く敦賀」間の北陸新幹線の開業を見据え、街が大きく変わるうとしています。特に福井駅の西口は、どこを見ても大規模な工事現場が目につきます。最高層ビルのホテル棟(マリオットホテル)やオフィスビル、分譲マンション、商業施設棟など地方ではよく見られる再開発事業です。新幹線は国策事業として着々と進んでいます。開通することで流動人口をどれだけ増やし、地域を活性化するのか、それが大きな課題となっています。(これは福井のみならず、全国どこにでもあることなのですが…)

福井といえは、東尋坊や永平寺、朝倉氏遺跡、近年では県立恐竜博物館(勝山市)などが有名です。敦賀近郊では、若狭三方五湖を一望できる

「レインボーライン」や国内でも珍しい「年稿博物館」も県外の方にはぜひ見ていただきたいスポットです。

ただここで若干危惧するのは、県民の「おもてなしの心」です。福井県は元々が、農業や工業(繊維・メガネ等)の県であり、外から訪れた方をおもてなしするのがあまり上手いとはいえないように、個人的には思います。地域や各機関を通して、講演やセミナー、ミーティングなどで県民が一丸となり、2024(令和6)年3月の開通時に備えたいと考えています。

*「年稿博物館」特徴的な編模様の地層「年稿(ねんこう)」をテーマにした世界初の博物館。

ただた ゆきお
◎会長 1975(昭和50)年
経済学部貿易学科卒業



西条地区会が毎年開催する親睦「西条いもたき」(加茂川河川敷)



2024年の北陸新幹線開業を見据える福井駅



埼玉県宮陵会の面々(総会時の集合写真、2019年5月26日)



ラジオで交流広げよう OBのゲスト出演次々 埼玉県宮陵会が番組運営

見よや神大われらが母校——。

F M放送から突如、応援歌「久遠の覇者」が流れる。そして女性の司会者(MC)が高らかに「神奈川大学埼玉県宮陵会」と番組名を告げる。何事かと耳を傾けてしまう。なんと大学OB会の地域組織が独自のラジオ番組を運営している。ゲストとして卒業生の出演が相次いでいる。そんなうわさを聞きつけて放送スタジオを訪ねた。そこには神大出身者の若々しい息吹があった。(編集部)

遠く県外からも

なにしろ地域組織・埼玉県宮陵会の名をそのまま番組名にしている。「そうなんです。あえて、ど真ん中、直球勝負に出ました」と同会の石田博英事務局長(一九七二(昭和四十七)年経済学部卒、七十二歳。受け答えも自信たっぷりである。

埼玉県の中ほど、鴻巣市にあるローカルFM局「フラワーラジオ」で毎月第四月曜日の午前十時からオンエア。石田さんとMCの伊藤恵さん、それに月替わりのゲストを加えたトーク番組である。ときに九十分にも及ぶが、学生時代のエピソードや卒業後の活躍の話題が尽きない。

今年三月の放送では、初めて県外からゲストを迎えた。それまでは市民グループ代表など近在の卒業生を招いてきたが、その日はギター部の仲間だったという四人がスタジオ入り。うち三人が鳥取、岡山、神奈

川各県からの来訪であった。

四人は一九七〇(昭和四十五)年卒の、団塊の世代。かつてギター部にあって有志「バッハ研究会」を結成、卒業後は帰省で散りぢりになったものの、バッハ音楽を愛する交友は半世紀を経た現在も続き、最近では機関誌まで復刊した。話を伝え聞いた石田さんがその意気軒高ぶりに感じ入り、近在の代表に声掛けして全員の出演が実現したという。

ゲスト四人の卒業後の人生行路もさまざま。一級建築士、高校の校長、保険会社の社長、専門技術職といった石田さんとコンビを組むフラワーラジオMCの伊藤恵さん



た顔ぶれが石田さんを囲んだ。

生放送はMC伊藤さんの手綱さばきもあって和気あいあい。学生時代の思い出話に花が咲く。

「あのころは学園紛争が盛んで、ろくに講義もなかったなあ」

「オレ、学生運動やって、産学協同路線粉砕して叫んでいた」

「よく卒業できたもんだ」「それがのちに社長だものねえ」

昔は楽譜一枚容易に手に入らず、手書きで写した。先輩の写譜ミスが後輩にも受け継がれた。依頼したレコード業者に夜逃げされて定期演奏会の大切な音源が失われた—そんな昔語りが続く、最後は逍遙歌「宮面ヶ丘寮歌」のギター弾き語り。あっという間に時間となった。

鴻巣に多いOB

埼玉県宮陵会の、このユニークな番組放送が始まったのは二年前の二〇二〇(令和二)年九月。きっかけ

◆神奈川大学埼玉県宮陵会

2017(平成29)年3月設立、
海老澤栄一会長、会員約400人。
番組への問い合わせは同会事務局
〒365-0051埼玉県鴻巣市宮前26-10
石田博英(いしだ・はくえい) 事務局長へ。
TEL. 090-9859-5993
(hakuei-ishida@eos.ocn.ne.jp)



◆フラワーラジオ

1998(平成10)年4月開局。
株式会社フラワーコミュニティ放送。
愛称「フラワーラジオ」。周波数はFM76.7MHz。
放送区域外でもパソコンやスマホで聴ける。
無料アプリListen Radio(「リスラジ」で検索)を利用、
「全国のラジオ局」から選局する。



ギターサークルOBのゲスト4人を迎えての放送。向こう側、真ん中が石田さん、手前後ろ向きはMC伊藤さん=フラワーラジオのスタジオ

はひよんなことからである。

たまたまフラワーラジオの歴史番組で同席した伊藤さんと石田さんらが「鴻巣には神大出身者が多い」という風説で盛り上がった。同窓のつながりはきつと楽しい。そのノリで伊藤さんが「番組になるかも」と持ち掛け、石田さんも母校PRの好機とばかり話に飛びついた。

石田さんによると、鴻巣市内の神大出身者は「分かるだけで八十人余」。町の規模、人口比では目立つ数字とか。なぜ埼玉の一地方都市・鴻巣に多いのか。謎めいている。

「近場の都内の大学ではなく、わざわざ東京を越えた、その先の神奈川大学を選んだ。そうした例がここでは相当あったわけです。どうしてだろうと考えました」

謎は番組の中でも推理し、解きほぐしてきた。結論はこうだ。

鴻巣はかつて中山道の宿場。古くから商家の町でもある。かわいい跡取り息子に独り立ちの修行をさせるには、日帰りできる都内の大学は近すぎて不向き。といって、あまり遠くても心配。そんな店主の親心がひそんでいたにちがいない。

石田さん自身は店の跡取りではなかったものの、卒業後、内装関係のコンサルタントとして、いろいろな店舗経営者と付き合いもあった。「他人の飯を食うには横浜がほどよい距離だったのでしょうね」



番組を運営する石田博英事務局長

そんなに神大卒業生が多いのなら、ラジオを通して、それぞれの人生物語を聞かせてもらおう。それを一般リスナーにも届けよう。コロナ禍で消沈しがちな時世、市井の語りが元気をくれる。そんなローカル番組があつていいではないか。

そこから石田さんと伊藤さんのタッグが始まったのである。

地域から全国へ

「今年は音楽路線」という。そのもくろみ通り、ギター部の四人に続いて四月の番組には男声合唱団「フロイデコール」のOB二人が登場した。彼らも団塊に続く世代の卒業生で、大学時代はサークルの部長や学生指揮者を務めたという。

現役サークルは既に廃部になってしまったが、「レジェンド」を名乗るOB組織は健在。先年、全国から数十人が横浜に集まり、ぶっつけ本番でコンサートを開いた。二人はその企画の中心人物でもあった。

最近では校歌も応援歌も歌えない神大生がいる。そうした風潮に出演の

二人は「私たちが卒業生としてなんとかしなくては」と声をそろえた。ラジオ出演を契機に、その思いが全国OBの共感となって広がり、校歌・応援歌への親愛を呼び覚ますならば、そして現役サークルの復活にも…。そんな夢を語り合った。

フラワーラジオは鴻巣市周辺が放送地域だが、専用のアプリ(別掲)を使えば全国各地でも聴くことができる。これからの番組予定や意気込みについて石田さんは話す。

「ラジオ放送に合うので、当面は音楽サークルの卒業生を招きたい。埼玉県内に限らず、多くの卒業生に遊びにきてほしい。電話での出演も可能。ゆくゆくは全国のOBに発信できる番組なればうれしい」

FM電波がいざなう交差点。ローカルであつても、にぎやかな行き交いの十字路に。石田さんら埼玉県宮陵会の番組の夢も膨らんでいる。



フラワーラジオの入るビルII埼玉県鴻巣市東1丁目

人生の総合大学・神大

「ハマちゃんバス」利用者協議会会長

嶋田 晃(74歳)



しまだ あきら
1948(昭和23)年7月生まれ、神奈川県出身。72(昭和47)年第二経済学部経済学科卒。同年神奈川県ダイハツ販売(株)入社、90(平成2)年9月退社。91(平成3)年4月横須賀市議会議員初当選。02(平成14)年2月横須賀市市政功労者、07(平成19)年5月横須賀市議会副議長就任、08(平成20)年5月退任、11年(平成23年)横須賀市議会議員勇退。12(平成24)年10月NPO法人やすらぎ理事長就任、現職。

私は、人は一人では生きられない、また、生きていけないと思っっている。原稿執筆を依頼され、74歳になる人生を振り返ると、特に神奈川大学の4年間の学生時代に出会った多くの友人、先輩との絆が、私の人生においてあまりにも大きな財産になっていることに気付いた。

在学中は学生運動全盛期で、大学の正門前は講堂の長机が山のように積み、有機鉄線がまかれ、大学構内に入ることが出来ず、「休講」の

貼り紙。横浜駅西口の喫茶店で、友人と夢を語り合ったことが懐かしい思い出となっている。当時は将来がみえぬまま、大学で受けた講義、友人との交流など、社会の中でなんの役に立つのだろうか、悶々とした青春時代を過ごしたが、学内で出会った上場企業のレック(株)現会長をはじめ、今でも交際を続け友情を深めている同窓生、人生の伴侶となる妻との出会いも神奈川大学であった。

ゼミでは、大野信三先生から社会学の講義を主体に、株価の動向や物流、道路運送法などを研究した記憶が、薄っすらと残っている。当時は真剣に勉強しない不真面目な学生だったが、道路運送法の講義が、のちに地域コミュニティバスを運行するときに大変参考になった。

卒業後は自動車販売会社で20年間中古車部に籍を置いたが、先輩からの勧めで、1991(平成3)年4月に横須賀市議会議員選挙に立候補し、5期20年市議会議員として活動させて頂いた。現職時代お年寄りなどから、高台の住宅地にバスを走らせてほしいとの要望があり、調査や視察、

検討をしてきたが力及ばず、導入には至らなかった。しかし、地元町内会や企業と協力し、NPO法人「ふぉーらむ」を立ち上げ、2012(平成24)年2月、「ハマちゃんバス」の運行を実現することができた。その後7年間で延べ17万人に利用され、地域ではなくてはならない存在になった。3年前に横須賀市で初の地域公共交通として、タクシー会社に引き継がれて運行されており、私は「ハマちゃんバス」利用者協議会会長として運行を推進しております。

また、バスの利用者から「この地域に喫茶店があればいいのね」との要望があり、そこで一念発起。2019(令和元)年4月にバスの駐車場跡地に「サロンハマちゃん」を開店しました。三浦半島宮陵会の役

員会でも利用して頂いております。コミュニケーションバスやサロンを通して、地域の皆様に喜んでいただければと念願しております。私にとつて、神奈川大学は知識を深め人間性を磨く総合大学であった。中学生時代の恩師が卒業式で贈ってくれた「人は環境を創り、そして環境が人を創る」との言葉を、これからも生涯の指針としていきたい。

人生すべて手探りで歩んできた道だが、今日まで周囲に支えられながら進んで来たことに感謝しつつ充実の人生を送ってきたい。

「ハマちゃんバス」の本格運行に関する協定書 調印式

令和元年11月27日



「ハマちゃんバス」運行協定書調印式(前列右から2人目筆者)

調印式で謝辞を述べる筆者



令和元年開設の「サロンハマちゃん」



いくつになっても新しい挑戦を

日芳佳奈子(58歳)



ひよし かなこ
福井県福井市 地域おこし協力隊 1963(昭和38)10月福井県生まれ。58歳。1986年外国語学部英語英文学科卒業。Merrill Lynch Japan Inc.、ジュビター出版(株)、農業生産法人設立運営を経て、兵庫県立淡路景観園芸学校、兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科で学び、現在福井県にUターン移住、地域おこし協力隊として活動中。園芸療法をベースにしたサステナブル・キッチンガーデン普及活動や、農福連携による耕作放棄地解消など地域課題と農業の可能性に注目している。

私は昭和57年に外国語学部英語英文学科に入学しました。外国へのあこがれとアメリカ英語の音とリズムに魅了され、英語のテープが擦り切れるほど聞きながら音読をしていたことを思い出します。卒業後、縁あって外資系のメリルリンチジャパンというアメリカの証券会社に就職しました。入社1年目にブラックマンデーがありその後すぐに日本はバブル景気を迎えました。話せなかった英語は日常業務で鍛えられ、アシスタント職から営業職への昇進チャンスももらい8時間にも及ぶ米国証券外務員試験を受験し総合職となりました。外資系ならではの男女関係ない働きかたやフエア精神など仕事の基礎はここで学ばせてもらった気がします。

その後、身体を壊したことで食の大切さを実感、自然農で野菜づくりをしたことがきっかけとなり農業の後継者不足と言われながら仕事として取り組むことになりました。しかし実際に費用を計算すると大赤字。いいものを作っているのに経営が成り立たない理不尽さを感じながらその頃始まったSNSやブログを使って発信、道の駅やファーマーズマーケットで試行錯誤しながら販売するようになりしました。農業は人間がコントロールできない天候リスクや不良品の多さなど、金融商品で言えばかなりリスクの高い部類に入ります。そしてそのリスクを生産者が取る仕組みになっていることに疑問を感じながら、どうせリスクを取っているなら経営リスクも同じじゃないかと経済的な自立ができるように自社商品のブランディングや加工品、農カフェ、ECサイト、農業法人の立ち上げ、海外輸出など農業で収益が取れそうだと思うことに取り組みました。

もともと家が農家ではないのにもかかわらず農業に興味を持ったきっかけとなった植物や農作業のちから。植物を通して心身の機能の回復や生活の質の向上を図る園芸療法の勉強を兵庫県立淡路景観園芸学校で、その後、植物やランドスケープデザインを隣接する兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科で学ぶ機会をもらい、50代後半での新たな挑戦となりました。そしてこの春無事卒業、高齢になった母と一緒に住むことを考え実家のある福井に高校卒業以来40年ぶりにUターン移住しました。

好奇心を失わず身体と心が元気でありさえすれば、いつでも、いくつになっても新しい挑戦はできるのだということを変更して学びながら、現在は福井市の地域おこし協力隊として働いています。

今後は園芸療法士としての活動も行いながら、大学院でも研究を行ってきた生活に身近な緑の効用のある循環型キッチンガーデンの普及活動をライフワークとして行っていこうと思っています。地球上の生きものとして本来以上のスピードや情報量を毎

日こなしている私たちはいつもストレスにさらされ気がつかないうちに疾病の原因ともなり得ます。

自然や植物たちは私たち人間にいろいろなことを教えてくれます。慌ただしい日常に疲れたら『小さないのち達』を見せてくれる静かで力強い世界をそつとのぞいてみるといいかもしれせん。植物や自然は私たち人間が見失った生きもの本来の「生きるちから」を与えてくれます。



メリルリンチ時代の筆者(左端)



サステナブルキッチンガーデンの作庭

神大ゼミとサークル仲間達に支えられて

株式会社ZENウエルネス 事業本部課長兼管理課長 品田 文子(61歳)



しなだ・ふみこ
1960年鳥取県生まれ。61歳。
1983年神奈川大学経済学部
経済学科卒業。鈴木芳徳ゼミ。
同年、日興証券入社、その
後JTBへ転職。結婚を機に、
千葉へ転居。出産後も仕事
を継続。2005年、母の介護
を機に医療介護業界へ転職。
大手介護会社で現場管理職、
本社研修を担当。2018年、
ZENウエルネス入社。施設長、
SVを経て現職。「介護が必要
になっても、その人らしい暮ら
しを大事に」家族は、夫、2
人の息子、猫。

鳥取から出て来た私は、神大で出会った友人は驚きの連続だった。当時は女子学生がまだ少なく、経済学科ではクラスで3分の1くらいしかいなかったと思う。女子でも、仕送り無しでバイトで自立している人、仕送りに前にパチンコで稼ぐ人、大酒飲みの友人。これまで自分の周囲には絶対になかった人たちと出会った。世の中は広いなとも感じた。

デーに合わせ2年に一度、鈴木ゼミ生の集う芳友会を主催して頂いた。心から感謝したい。

入学して軽スポーツ会に入会。講義に合間がでると、体育館に行き、バレーボールなどを楽しんだ。学食の一角を定位置にした先輩たちがいて、単位の取り方を教えてもらい、教科書のお下がりまで頂き、はたまた、試験の模範解答まで教えて頂いた。お陰で、3年でゼミ以外の単位は全て取得。3年からは金融の鈴木ゼミに入った。故鈴木芳徳先生にはたくさんさんのことを教えて頂いた。中でも記憶に残る言葉は「どんな時にもそのままの自分でいいよ、と言ってくれる友人を大事にしなさい」と、人として大切なことをたくさん教えて頂いた。卒業後、ホームカミング

卒業後、大手証券会社にUターン就職。結婚後は千葉に住み、仕事も続けた。出産後、家事と育児、仕事で悩んだ際も、芳友会で先輩方の話に励まされた。次男が3才の頃、私自身が大病をし、長期入院も経験した。この頃が一番辛い時期で、睡眠時間を削り、働き、無理をしていたように思う。知らず知らずのうちに良い母、良い妻を演じようとしていた。

家事、育児、仕事。全てにおいて気持ちの余裕を無くしていた。辛い私を救ってくれたのも、大学時代の友人たちだ。会うだけで元気が出た。飾らない自分のままでいいと言われたような気がして、気が楽になった。「やれる限りで良い」と、頑張り過ぎていた自分にも寛容になった。自分らしく、できる範囲でゆつくりと両立していこうと思った。その後、母の介護も経験し、介護の資格を取得。施設長、SV(スーパーバイザー、

管理者)を経て、現職に就任。今思うと、50才で、これまでの経験が生かせる仕事に出会った、と感謝がある。無駄な経験はないものだ。

女子学生の皆さん！人生は順調ばかりではありません。仕事と家庭の両立も諦めずに、マイペースで続けて下さい。最後に、辛い時こそ大学時代の友人に連絡してみても下さい。卒業40年後の私の実感です。



ホームカミングデー後、サークル軽スポーツ会の友人たちと



芳友会参加後、六角橋の居酒屋にて



考えるだけでなく 全力で行動する

株式会社採園 代表取締役 守屋 紀洋(31歳)



採園ホームページ



もりや・のりひろ
1990(平成2)年9月生まれ。山梨県出身。31歳。2013(平成25)年経営学部国際経営学科卒業。2016(平成28)年神奈川衛生専門学校卒。2016(平成28)年祥和鍼灸整骨院入社。2018(平成30)年株式会社採園 代表取締役就任

会社の紹介

私は山梨県で「天空の輝き」という自社ブランドのマンゴーを栽培しております。山梨県で桃や葡萄ではなく、なぜマンゴーなのかと思う方も多いのではないのでしょうか。マンゴーといえば暖かい地域で栽培されているイメージが強いと思います。しかし、山梨県には高品質のマンゴーを栽培するのに適している日照時間や水が揃っている、寒いイメージの山梨県でも高品質なマンゴーを栽培することができております。

仲間

大学時代は、平塚軟式野球部(部活動)中心の生活でした。入部してから驚いたことがたくさんありました。監督がいないことに加え、上下



平塚軟式野球部の仲間と(左が筆者)。2011(平成23)年の全日本大学軟式野球選手権大会準優勝時。

関係がほとんどありません。監督がいないため、選手同士で意見をぶつけながら、練習の組み立てから采配まで決めるなど、これまでの野球生活の中で一番頭を使ったかも知れません(笑)。そうした努力が実を結び、全国大会で準優勝を経験できました。当時の仲間とは今でも連絡を取り合うなど、いい刺激をたくさんもらっています。

兄弟の絆とマンゴーとの出会い

在学中の就職活動では、初めて自分の人生について考えました。悩んだ末に就職ではなく進学を決断し、鍼灸師の国家資格を取得しました。鍼灸師を志したきっかけは、兄でした。兄が障がい者だったことから、障がい者の人やその家族をケアできる仕事に魅力を感じ、鍼灸師になりました。鍼灸師はとても魅力的な仕事でしたが、自分の思い描く障がい者支援ができず、葛藤の日々でした。

そんなとき、父の会社の新規事業の話があり、それがマンゴー栽培でした。マンゴー栽培によって、畑仕事や化粧箱作りなど障がい者に雇用の場を創出できると思い、マンゴー事業に取り組みことを決意しました。農業

も全くの未経験で、初めは販売できないようなマンゴーが収穫できませんでした。しかし、全国のマンゴー農家に足を運ぶなどして知識を得て、失敗を繰り返しながらではあります。今は年に4千個のマンゴーを栽培できるようにになりました。

失敗を失敗では終わらせない

そんな私がマンゴー事業を通じて学んだことを、^{せんやう} 僭越ながらここに記させていただきます。

1つ目は「失敗を失敗で終わらせないで行動することです。栽培1年目の時に、マンゴーでスパークリングワインを作って大失敗をしました。でも、その経験を活かして、昨年日本初の国産マンゴー100%ジュースを作ることができました。失敗を恐れず、まずはやってみる。考えるだけではダメで、自分が思ったことを全力で行動する。選択自体は間違っていないか、その時々にも全力で行動すると、人生は自然と良い方向にいくのではないかと思います。

2つ目は「人との

繋がりを大切にすることです。少しずつですが、マンゴー事業を通して思い描いていた障がい者支援ができるようになりました。ここまで来られたのも、応援してくれる周りの人のおかげです。こうした人々との繋がりを一番大切にすることが、事業をする上で、さらには人生で一番大切だと今は感じています。私自身まだまだ成長途中ですが、そうした人達に少しでも恩返しができるよう、これからも一生懸命頑張ります。



収穫直前のマンゴー



収穫したマンゴーからできたジュース



卒業生の声

多くの卒業生から

さまざまな声をお寄せいただきました。

3年前のウクライナ

石川県 花岡 鉄男 (73歳)

1971(昭和46)年法学部法律学科卒業

ロシアによるウクライナ侵攻で、凄惨な状況が連日報道されている。プーチンは軍事、内政、外交に深刻な挫折を味わわない限り、攻撃の手を止めることはないだろうと思う。

2019(令和元)年6月、友と東欧の旅に出た。曖昧な記憶ながら当時の感想を書いてみたい。ソ連の圧政から解放された国々では、政治的な恩讐を乗り越えて自由と民主へと大きく舵を切った。EUやNATOにも加盟し、本家から距離をおき、小さいながらも幸せな家庭づくりを励んでいる。本家は面白くない。こんな流れか。ドナウ川が東流する大平原では、小麦、馬鈴薯、牧草が地平線の彼方まで続き、肥沃な黒土(チェルノーゼム)が「世界一の穀倉」を支えている。その規模と

いい、機械力といい、車窓からの眺めに驚嘆したものだ。なにしろ桁が二つ三つ違うのだ。

黒海に注ぐドニエプル川流域は、ソ連時代から鉄鋼、重化学、電力など国内最大のドネツコンビナートであったが、TVから流れる悲惨な映像を目にする毎日である。

いま北陸は麦秋が訪れ、収穫作業が最盛期を迎えている。風が吹くと黄金色の麦穂がサラサラと波打っている。かの地では前年の晩秋に播種した小麦を5月に収穫し、6月から再び作付けに入る。沃土のなせる恵みを戦車が踏みつぶし、荒野と化した地に豊かな実りは期待できそうもない。

国富の全てを軍備につき込み、それでも国民の命と国土を守れなかった77年前の日本の敗戦…。

冷やした缶ビールを片手に「DeNAの濱口は立ち上がりが悪い」なんて軽口を飛ばし、秋の値上げ前に買い溜めに走る自分がいる。なにもできない歯がゆさはあるが、一刻も早くウクライナの平和と復興を願うばかりだ。

教壇を離れて10年。私が高校の地理教員になった原点は、母校の校歌「♪船は航く 遠きわたつみ…世界は呼ぶ 世界は呼ぶ♪」にある。元気なうちに、あと数回、世界を旅してみたいと思う。昨今だ。



学生時代の趣味、いつまでも

神奈川県 中山 幾雄(56歳)

1988(昭和63)年法学部法律学科卒業

仕事仲間と2人で今年の4月10日、長野県中央アルプスの宝剣岳(2931m)と木曾駒ヶ岳(2956m)に登った。ここ数年、夏冬の年2回ペースで出掛けている。夜中に車で横浜を出発し、明け方に登山口に到着。そこから登り、その日に下るといふ夜行・日帰りの弾丸登山だ。テント泊山行では装備も多くなり、ちよつとかつたるく感じるからだ。

在学中は、オカリナ山友会(現在は存在せず)という山岳同好会に所属し、四季を通じて山に入っていた。当時はフリークライミングが日本でも流行りだした頃で、そのアクロバチックな格好良さに憧れ、湘南鷹取山をはじめ伊豆の城ヶ崎や山梨県の三ツ峠などにも行った。後輩の中には現在でもバリバリに登っている者もいるようだ。下界(山の世界では街中のことをこう言っていた)では先輩や後輩と六角橋の居酒屋で吐くまで飲んだ。今では思い出深い。

今回の弾丸登山では、中央高速道を駒ヶ根インターで降り、マイカー規制のために菅の台駐車場で路線バスに乗り換えた。終点の「しらび平」から駒ヶ岳ロープウェイで一気に1000m近く上の千畳敷へ。ここでアイゼンを履き、ピッケルを手に



2931mの宝剣岳の頂上で 筆者

千畳敷カールを登り始めた。この日は、これ以上ないというくらいに無風快晴だった。Tシャツ1枚でも汗が流れ落ち、宝剣岳へはクサリ場を辿って頂上へ。学生以来実に36年ぶりの頂上だ。学生当時は12月、しかも吹雪いて、全く眺望が利かなかった。しかし、この日は御嶽山や乗鞍岳、遠くは北アルプスまで望めた。下山後はご当地グルメのソースかつ丼を堪能した。

こんなユルユル山行でも、気分転換となり、明日へのヤル気が刺激される。これからもずっとずっと続けていきたいと思っている。



大学生活を

振りかえって

神奈川県 加藤 優花(22歳)

2022 (令和4年)

法学部自治行政学科卒業

神奈川県で過ごした4年間は、長いようであつたという間でした。勉強では、高校の勉強とは異なり、大学という場で「自ら学ぶ」という意味を知りました。

自治行政学科で初めて法という分野に触れ、はじめの頃は教員が話す言葉が呪文のように聞こえました。ノートをとるのも精一杯の毎日で、テストやレポートに追われ、必死に単位を取っていたことをよく覚えています。しかし、1、2年生で法律の基礎を固め、3年生頃になつてくるとだんだん講義に慣れ、自分の興味のある分野をもっと知りたい、考えてみたいと主体的に学ぶことを覚えめました。少人数授業で専門的な知識にも触れることができました。自ら進んで得た知識は、記憶に残り、これからも自分を成長させてくれるように思います。

部活動は空手道部に所属し、勉強と部活動で忙しいながらも、日々充実した時間を過ごすことができました。残念ながら、3年生以降はコロナウイルスの影響で、練習には試合の制限があり、思ったように活動出来ないこともありましたが、最後には大きな大会に出ることができ、悔いの残らない活動となりました。



良かった!

地元宮陵会への入会

群馬県 上原 修(52歳)

1995 (平成7年)

第一経済学部経済学科卒業

自分のしたいことを、失敗を恐れず思いっきりできる大学生活はとても貴重なものであつたと思います。まだまだコロナ禍で制限を受けることもあると思いますが、後輩には、今しかない学生生活を大いに楽しんで過ごしてほしいと思います。

『宮陵会報』や『宮陵』を楽しみに拝見させていただいております。宮陵では各地域組織の総会の様子が紹介されており、五十数年の人生をもっと充実したものにするきっかけに、神大に少しでも関わっていきたいと思ひ地域組織への入会を検討しております。出身は長野県ですが、群馬で家を購入し、仕事も群馬県内のお客様への営業職であつたため、少しでも群馬の知人を作りたい思ひで、群馬宮陵会へ入会させていただきました。

入会した2019 (令和元)年6月の総会をきっかけに仲間入りをさせていただき、篠原正行会長をはじめ、先輩方に暖かく迎入れていただきました。当時の群馬宮陵会のホームページでも紹介をいただきました。

群馬宮陵会の総会開催は7月の第1土曜日が多く、勤務先の土曜営業



英語教師・

田中菊雄先生について

神奈川県 北村 照男(77歳)

1968 (昭和43)年

経済学部貿易学科卒業

日と重なり、入会の機会を逃してしまいました。令和元年は創立15周年、勤務先も久々の土曜休日となつたため「是非参加したい」と篠原会長の自宅に直接電話し、入会の相談をいたしました。翌年の新年会も参加させていただきました。が、それから新型コロナウイルスの感染拡大防止で、行事は中止となりました。あの時入会していなかったら未だ入会できていなかったと思うと、グッドタイミングでした。

活動が再開されたら、また参加させていただき、充実した楽しい一時間が過ごせたらと思っております。

1964 (昭和39)年、憧れの港町・横浜市の神奈川県立貿易学科に入学し、68 (昭和43)年卒業した。長野県須坂市生まれで現在77歳。中学生から英語が好きで、将来英語に携われる仕事に就けたらという願望があつた。

この写真は、1年A組総勢66人(内女子5人)の英語教師・田中菊雄先生を囲んでもので、左側の立像(ボクシングのファイティングポーズ)のあつた庭で撮影したもの。今でも、田中先生の授業のことを思い出す。牛乳瓶の底のようなメガネを掛けた

顔、大きな声の「アイトントノウ」の声が脳から離れない。英語好きは今も続いている。NHK英語ラジオ講座では、毎日英語と触れ合える楽しさを味わっている。

私の知る田中菊雄先生の略歴について触れておきます。

先生は、1893 (明治26)年11月19日北海道小樽生まれ。1975 (昭和50)年3月29日に逝去された英語学者で英和辞典編纂者です。先生は、父親の事業の失敗が元で、貧窮に耐えて暮らした。旭川市の高等学校に通学した後、旭川駅所属の列車ボーイとなる。文学青年だった車掌から小説を借りては、乱読していたという。列車ボーイを辞め、18歳の時に上川郡鷹栖村近分第一高等尋常小学校の代用教員に採用され、翌年、検定試験に合格し正教員となった。

このころ英文学研究を志し、独学で没頭するかたわら、遠距離に住んでいたアメリカ人教師に学ぶ。田中先生の学習は寝るのも惜しんで、一切床にはつかず、机に向かい勉強を続けるといった壮絶なものだった。1917 (大正6)年24歳で上京し、鉄道院官房文書課に勤めながら夜間英語専門学校だった正則英語学校に通学した。1922 (大正11)年に中学校教育検定と、1925 (大正14)年高等学校教員検定に合格した。このころ研究社「新英和大辞典」の編纂に関わつた。1930 (昭和5)年山形高等学校に転勤。同僚の



田中菊雄先生を囲み、1年A組が勢ぞろい

島村盛助氏と東北帝国大学教授・土居光知氏とともに7年かけ「岩波英和辞典」を編纂した。戦後は、新制の山形大学で講じ、1960（昭和35）年に退官。晩年は藤沢市辻堂に居住し、神奈川大学に勤務した。

宮陵会事務局からのお知らせ

◆ 会議予定

理事会 2022(令和4)年9月9日(金)
11月11日(金)

◆ 夏季一斉休暇

2022(令和4)年8月12日(金)～2022(令和4)年8月17日(水)

◆ 地域組織 新代表者紹介

京滋宮陵会 昭52法 森川 藏 様

■ 計報 謹んでお悔やみ申し上げます。

2022(令和4)年1月12日

貝田泰雄様(昭38法)

元宮陵会理事

元学校法人神奈川大学常務理事

2022(令和4)年5月21日

渡邊 武 様(昭33経・平16経博前)

元宮陵会監事

元横浜北宮陵会会長

2022(令和4)年7月1日

中川眞澄様(昭40工経)

前熊本県宮陵会会長



◆ 事務局よりお願い

【会費納入について】

宮陵会の安定的な運営のため、会費の納入をお願い致します。会費が未納の場合は、会員資格が「普通会員」となり、代議員となる資格がなくなる場合があります。詳細につきましては、同封の「会費納入要領」をご参照ください。

【住所等の変更について】

登録されている氏名・住所・電話番号・勤務先などに変更があれば、ご連絡をお願い申し上げます。

① 神奈川大学ホームページ

卒業生のひろば (<https://alumni.kanagawa-u.ac.jp>) ⇒

卒業生情報登録・変更のご案内

② FAX 045-413-0791

③ E-mail kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp

※登録いただきました情報は、皆様の個人情報の重要性を深く認識し個人情報保護方針に従い適正な保護管理に努めています。

学生への食料品無料配布 2回目実施

宮陵会本部は昨年8月から10月にかけて、横浜キャンパスの「コロナワクチン大学拠点接種」(いわゆる職域接種)に合わせ、約2千人の一人暮らし学生に食品の無料配布(3千円相当)を行った。(昨年12月発行『宮陵会報』No113号で既報)大好評だったこともあり、今年度も6月中旬から7月上旬にかけて、横浜、みなとみらい、湘南ひらつかの3キャンパスで、宮陵会三役と本部事務職員とで行った。今回も学生からは好評で「ありがとうございます。助かります」と素直な感謝の声が多く届いた。



原稿を募集しています

『宮陵』(No.115号)へのご投稿をお待ちしています。

▽発行 2022(令和4)年12月中旬

▽体裁 A4判、16ページ(予定)

▽部数 120,000部

▽600字程度、テーマは自由。郵便番号、住所、氏名、年齢、神大卒業年・学科、連絡先(メールアドレス・電話番号(携帯))を明記

▽締め切り 2022(令和4)年10月26日(水)。掲載分には記念品をお贈りします。原稿は一部手直しする場合があります。

▽〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 宮陵会本部『宮陵』(No.115号)係。郵送またはメール(kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp)で。神奈川大学宮陵会 広報委員会



読者プレゼント



【賞品】

① 神奈川大学オリジナル横浜スカーフ(シルク100%、千鳥巻き・手捺染、株KUパートナーズ販売) / 3名

② 神奈川大学箱根保養所

1泊2食付きペア宿泊券 / 3名

③ KUマーク入りキャップ / 10名



KUマーク入りキャップ

【応募方法】

ご希望の方は、はがきに希望の賞品(①か②か③)、名前、郵便番号、住所、電話(またはメールアドレス)、卒業年・学科(現役学生は学年・学科)、『宮陵会報』No114(今号)の感想を書いて

〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1、神奈川大学宮陵会「プレゼント係」までお送りください。

▽締め切り 2022(令和4)年9月15日(木) = 消印有効。当選者(抽選)の発表は、賞品の発送(10月上旬)をもって代えさせていただきます。



情報をお寄せ下さい



国内外で活躍されている卒業生の情報(他薦、自薦)や話題などお寄せ下さい。年2回発行の『宮陵会報』や年1回発行の『宮陵』で紹介させていただきます。(宮陵会広報委員会)